

兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)は、世界で活躍する指揮者・佐渡裕が「本当につくりたかった未来形のオーケストラ」と強い思いを持って育て、2020年に創設15周年を迎えます。本公演で演奏するベートーヴェンの作品は、シンプルながら驚きに満ちあふれ、壮大な音の神殿に足を踏み入れるような興奮を与えてくれます。「英雄」交響曲では、そんなベートーヴェンの魅力をフルオーケストラで存分に体験ください。そしてソリストには、佐渡裕が絶大な信頼を寄せ共演を重ねているエフゲニ・ボジャノフ。“まるで魔術のよう”と称される唯一無二の音色で披露する華麗な「皇帝」は必聴です。ご期待ください！

# 佐渡×PAC×ボジャノフ 5年ぶり全国ツアー!!



©Takashi Iijima



**佐渡裕** (芸術監督・指揮)  
Yutaka Sado, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。

バリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン放送交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団(現・NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団)等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月より、オーストリアを代表する110年以上の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団音楽監督に就任し、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。また、オレンジ音楽祭「蝶々夫人」(演奏:スイス・ロマン管弦楽団)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演も実績を重ねている。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDは「ベートーヴェン〈運命〉／シューベルト〈未完成〉(ベルリン・ドイツ交響楽団)」など多数リリース。最新盤は、トーンクンストラ管弦楽団を指揮した10枚目のCD「バーンスタイン:交響曲第3番(カディッシュ)／弦楽のためのセレナード」を2018年12月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP新書／PHP文庫)などがある。

オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



**エフゲニ・ボジャノフ** (ピアノ)  
Evgeni Bozhanov, piano

ブルガリア出身。ホルクヴァンク芸術大学(エッセン)でB.プロツホ氏、ロベルト・シューマン音楽大学(デュッセルドルフ)でG.F.シエンク氏に師事。2008年リヒテル国際ピアノコンクール優勝、2010年エリザベート王妃国際ピアノコンクール第2位、同年ショパン国際ピアノコンクール第4位。

これまでに、ベルリン・ドイツ交響楽団、バイエルン放送室内管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール管弦楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団など、世界の名だたるオーケストラと共演。また指揮者では、ユベール・スダーン、佐渡裕、ユッカ=ベッカ・サラステ、トゥガン・ソヒエフ、ダニエーレ・ルスティオーニらと共演。

CDは、(ドイツ・レコード評論賞)を受賞した「フレデリック・ショパン」、バイエルン放送室内管弦楽団と共演した「ショスタコーヴィチ、モーツァルト:ピアノ協奏曲」などをリリース。

11年、15年兵庫芸術文化センター管弦楽団の定期演奏会および国内ツアーに出演。

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月設立。阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとしてオープンした兵庫県立芸術文化センターの専属楽団。芸術監督は佐渡裕。世界中でオーディションを行い、多国籍の若手奏者により編成されアカデミーの要素も持つ。同センターを拠点に多彩な活動を展開。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、17年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。